

舞鶴若狭自動車道(小浜西IC～小浜IC) 整備効果①

■アクセスの向上

今回の開通により、小浜市街から舞鶴方面へのアクセスの向上が図られます。例えば、小浜市役所から舞鶴港までの所要時間は、従来の国道27号利用時と比べて、約10分短縮されます。

従来の利用
(小浜西ICから国道27号利用)
舞鶴港～小浜市役所
約60分



今回開通区間を利用
舞鶴港～小浜市役所
約50分

※H17センサスにより算出

舞鶴若狭自動車道(小浜西IC～小浜IC) 整備効果②

■ 災害時における交通確保

災害時における広域代替ルートとしての機能が向上されます。

平成7年1月17日の阪神淡路大震災の際には、中国自動車道・名神高速道路が通行止めとなり、舞鶴若狭自動車道(当時、舞鶴西ICまで開通)と並行する国道27号が東西を結ぶ代替ルートとなりました。

■ 阪神淡路大震災時の迂回ルート

並行する国道27号が名神高速道路の代替路線として機能しました。



名神高速道路及び中国自動車道は中部・関東と関西、中国九州地方を結ぶ重要路線です。

舞鶴若狭自動車道が全線開通すると、北陸自動車道と併せて、広域的な代替路線が形成されます。

舞鶴若狭自動車道(小浜西IC～小浜IC) 整備効果③

■ 国道と高速道路のダブルネットワーク化(物流の効率化)

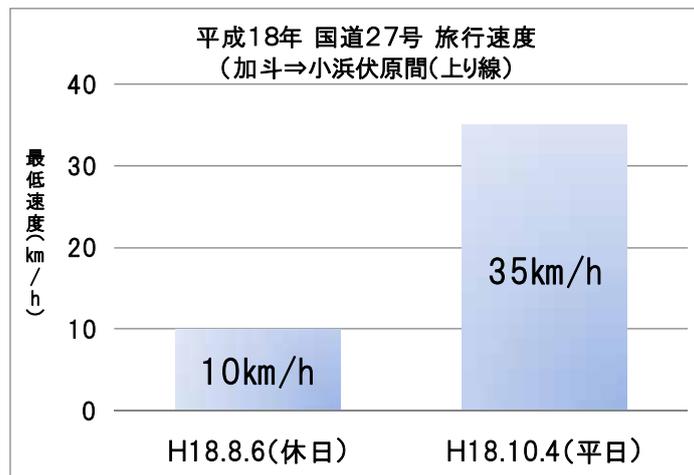
今回開通する区間と並行する国道27号には、車両高さ制限区間が3箇所あり、ISO規格背高海上コンテナ輸送車(高さ=4.1m)の通行ができませんでしたが、高速道路を利用することでその通行が可能となり、関西の日本海側における国際貿易拠点である舞鶴港からの物流の効率化が図られます。



舞鶴若狭自動車道(小浜西IC~小浜IC) 整備効果④

■ 交通混雑の緩和・交通事故の減少

夏季の海水浴シーズン等に発生する国道27号の交通混雑が緩和されるとともに、交通事故の減少が期待されます。



出典:27号旅行速度調査(国交省調べ)